

優れた稲はこうやって選ぶ

-水稲品種育成-

当センターでは，広島県の気候風土に適したイネ品種の育成を進めています。そのために，様々な段階でよい系統を選ぶ作業（選抜）を行います。

		主な選抜項目	選 抜 内 容
選 抜 場 所	圃 場	出穂期・成熟期	・育種目標（中南部向け中生品種）にあった熟期のもの
		草姿・外観品質 写真①	・倒伏に強く病害虫発生が少ないもの ・玄米の粒張りが良く，つやが良いもの
		収量性 写真②	・単位面積あたりの収量性が高いもの ・穂からもみが脱粒しにくいもの ・複数年の収量結果が安定しているもの
	実験室	品 質 写真③	・腹白，基白，心白等の発生率が少ないもの
		食 味 写真④	・近赤外分析計でのアミロース，タンパク含有率が低いもの*（年次変動調査） ・食味官能評価の高いもの（対照とする品種との食べ比べを行います）

* 一般にアミロース含有率の低い米ほど粘りが強く，タンパク含有率が低いほど食味が良くなります。



草姿の調査 ①



機器による品質の調査 ③



食味官能試験



収量性の調査 ②



食味官能試験 ④

異なる4つの品種・系統を食べ比べます。赤を基準に，炊き上がりの色つや，粘り，硬さ，かおり等で採点します。